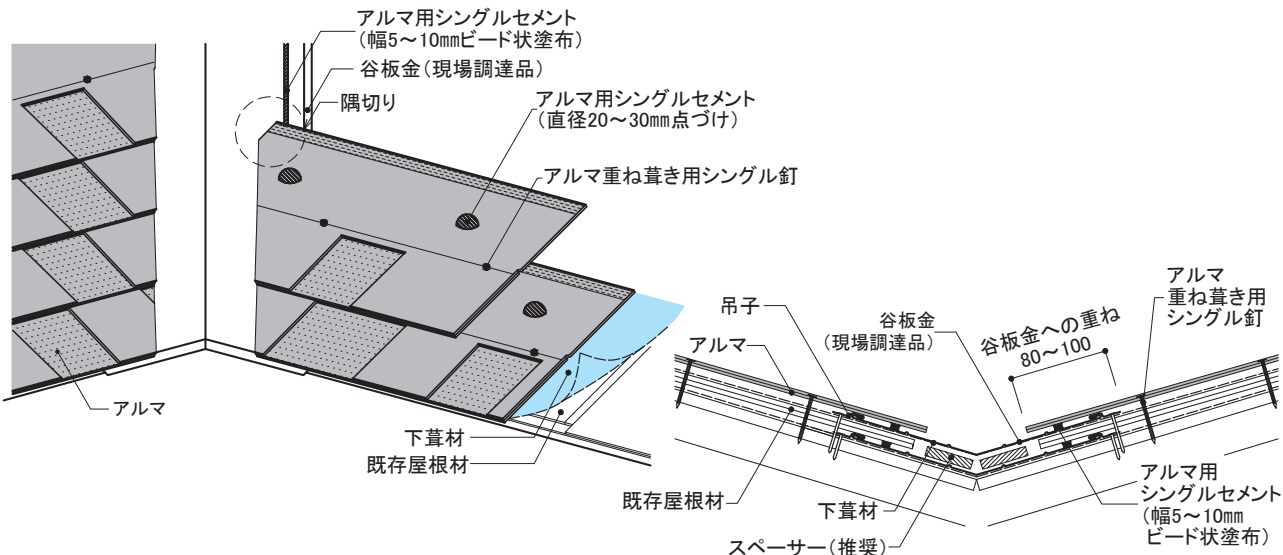


5) 谷部

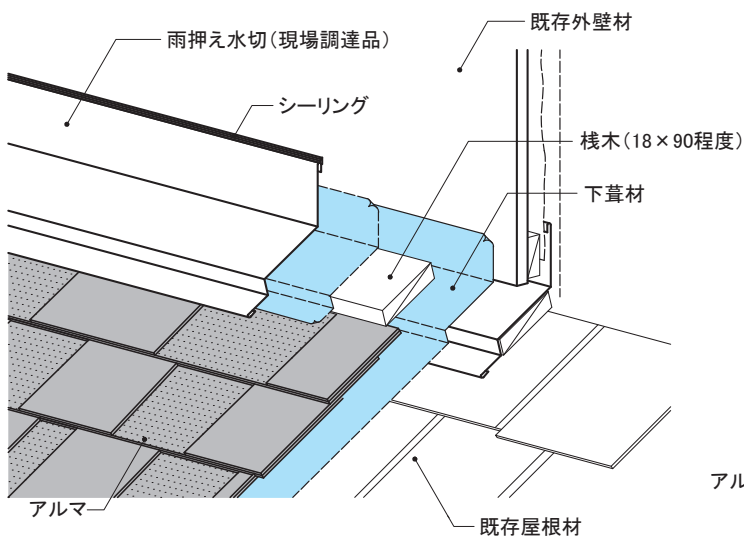
板金仕様

- 谷板金は直接釘で留め付けず、必ず吊子で取り付けます。
- アルマを谷板金に80～100mm重ねて施工します。
- 谷部にかかるアルマの上部角は50mm程度隅切りします。
- アルマ本体留め付けの際、釘が谷板金を貫通しないように留意してください。
- 谷板金にアルマ用シングルセメントを幅5～10mmのビード状に塗布し、アルマ本体と接着します。
- 既存谷板金との段差解消のため、必要に応じて10～15mm厚のスペーサーを挿入します。

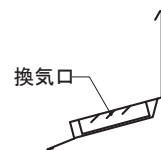


6) 壁際部

- 既存雨押え水切の上に栈木を設置し、アルマを施工後、新規に雨押え水切を設置します。
- 栈木を覆うように下葦材を増し張りします。
- 雨押え水切上部にはシーリングを充填し、止水処理を行います。
- 既存外壁材に通気が必要な場合、既存雨押え水切にアルマを差し込んだり、雨押え換気部材を使用するなど、既存外壁材の通気を阻害しない措置を講じてください。



■ 雨押え換気部材 (現場調達品)



既存外壁材に通気が必要な際に使用
※流れ側には使用しないでください。

